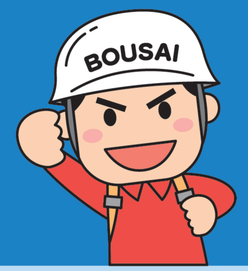
ため池ハザードマップ
松野町

ボオズ池（ぼおずいけ）





この地図は、農業用ため池の『ボオズ池』が、南海地震などによって大きな被害を受け、ため池の堤防が決壊し、洪水が発生した場合を想定し、そのはん濫水が到達する可能性のある区域の最大範囲と、予想される浸水の深さを表示したものです。

実際のはん濫水の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の被害の程度、周辺の土地利用状況等により、これと異なる可能性もありますが、地震が発生したら「まずは安全な場所に逃げること」が何よりも大切です。

地域の皆さんでこの地図をご活用いただき、地震時の安全確保に努めてください。



情報伝達の流れ

松野町

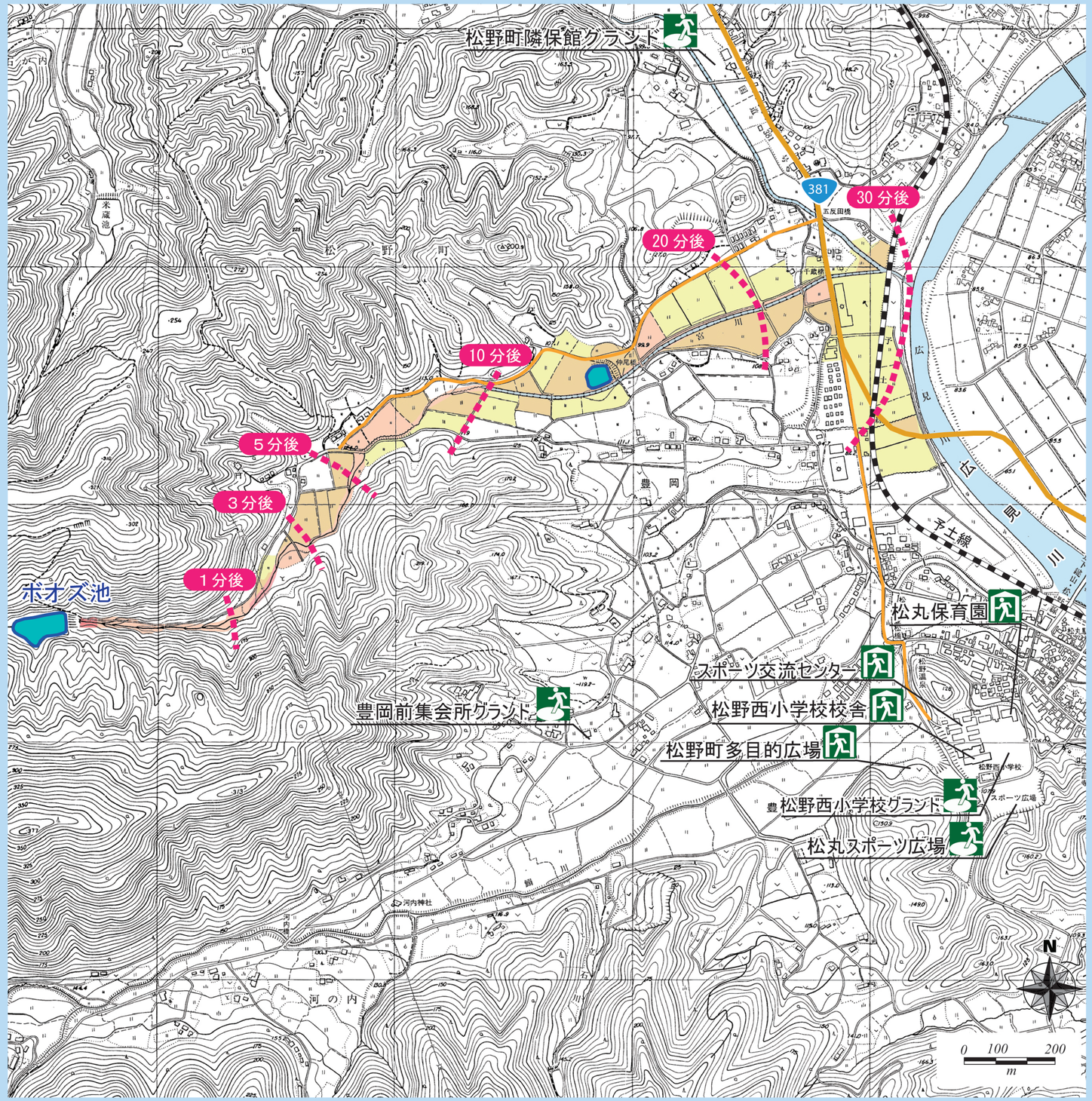
- 消防団
- 広報車
- 防災行政無線（屋外スピーカー・告知端末）

気象庁

緊急地震速報等

- エリアメール
- インターネット
- テレビ
- ラジオ

町民の皆様



凡例

- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 鉄道
- 国道
- 主要道路

ため池のはん濫に関する凡例

■浸水深
- 5.0 ～ 10.0m
- 3.0 ～ 5.0m
- 1.0 ～ 3.0m
- 0.5 ～ 1.0m
- 0.01 ～ 0.5m

■到達時間
- はん濫水到達時間線

地震時の心得10ヶ条



1 まず身の安全を!

ケガをしたら火の始末や避難がおくれてしまいます。家具の転倒や落下物には充分な対策を。



2 すばやく火の始末

揺れを感じたらすばやく行動。火元付近には燃えやすいものを置かない習慣を。



3 戸を開けて出口の確保

震動でドアが開かなくなることも。戸を開けて避難口の確保を。



4 火が出たらすぐ消火

万一出火しても天井に燃え移る前なら大丈夫。あわてず消火を。



5 あわてて外に飛び出さない

飛び出しはケガのもと。冷静な判断を。



6 狭い路地やブロック塀には近づかない

ブロック塀や自動販売機は転倒の恐れが。すばやく避難を。



7 協力し合って応急救援

地域ぐるみで協力し合って応急救援の体制を。



8 山崩れ、がけ崩れに注意

居住地の自然環境を把握して二次災害防止の心掛けを。



9 避難は徒歩で

マイカーでの避難は危険うえ緊急出動の障害に。ルールを守る心のゆとりを。



10 正しい情報を聞く

事実はひとつ。間違った情報にまどわされず的確な行動を。

